

「市立小・中学校通学区の見直し（案）」に対するパブリックコメントの結果報告

1. 実施日 平成27年10月30日（金）～11月20日（金）
2. 実施方法 市役所（教育総務課、情報公開コーナー）、市ホームページ
3. 応募件数 19人（33件）
4. ご意見及び回答

整理番号	ご意見・質問要旨	件数	回答
1	第三小の校区が近隣の第一、第二、第三、日新に比べ特別に狭く人数も少ない。学年でも人数差、男女差がある。小規模校から大規模校の佐野中学に進むことが、いじめにつながるのではと不安が大きい。よって、三小の小規模校を改善してほしい。	1件	第三小を含む小規模校の課題については、教育委員会としても十分理解しており、今回の通学区見直しに至ったものであります。
2	第三小を残すと決定したなら児童数を確保すべきである。	1件	通学区見直し後の児童の就学状況等を踏まえ、必要があれば、他の方策を検討するなど、児童数の確保に努めていきたいと考えます。
3	湊の一部など第三小の調整区域を拡大してほしい。	3件	今回の見直し案は、三小の収容能力等も勘案し、上町及び大宮町を第三小の通学区としておりますので、ご理解ください。
4	第三小を弾力的運用の受け入れ校にすべきである。	3件	弾力的運用の受入可能校は、教室に余裕のある学校とされており、これまで、第三小は受入可能校に該当しませんでした。今後、通学区見直し後の児童の就学状況等を踏まえ、必要があれば、検討していきたいと考えます。

整理 番号	ご意見・質問要旨	件数	回答
5	変更後の小学校の通学体験を行うなどPRを行うべきである。	1件	新通学区域の指定校を選択してもらえよう、PRに努めていきたいと考えます。
6	(第三小の子どもたちと、同じ佐野中校区の)第一、第二、末広小の子どもたちとの交流の機会を作ってほしい。	1件	現在、入学前にクラブ活動体験を実施し、他校の児童との交流の機会がありますが、今後、そういった機会を増やしていきたいと考えます。
7	通学区域が変更となる区域をすべて調整区域としたことで、大規模校、小規模校の問題は解決できない。	1件	ご意見のとおり、調整区域を設けることは、学校規模の解消に繋がらない恐れがあり、また、同じ町の子どもたちが分かれて通学することになるなど、望ましくないことと考えております。また、学校選択時に悩ませることになり、申し訳ないことと考えます。
8	調整区域を設けることで、選択制になり、町を分断することになる。	1件	しかし、通学区域が変更となる地域から多数要望が寄せられ、理解を得るため、やむをえず、調整区域を設けたものであり、ご理解ください。
9	調整区域を設けたことは、市が決定したことに従おうとしている人を悩ませることになる。	1件	
10	調整区域の10年という期間を設定しないでほしい。	1件	永久に調整区域にすることはできませんので、10年後に再検討することといたしました。また、10年で調整区域を廃止するのではなく、引き続き調整区域として設定することも考えられますので、ご理解ください。
11	調整区域について10年後に改めて考えるのではなく、先に結論を出してほしい。	1件	10年後における、調整区域内の児童の就学状況に加え、全市的な児童の分布状況なども勘案して再検討したいと考えており、現時点で10年後の調整区域の存廃等をお示しすることはできませんので、ご理解ください。

整理 番号	ご意見・質問要旨	件数	回答
12	調整区域を10年とせず、もっと早い段階で再度検討してほしい。	1件	永久に調整区域にしてほしいという要望があるなか、一定の期間を設けるべきと考え、10年間としましたので、ご理解ください。
13	校区を考えて自宅を購入したので、原案（10年間の調整区域設定）のとおり進めて欲しい。	1件	調整区域については、見直し案のとおり設定する方向で進めたいと考えます。
14	調整区域を設けての校区割りが妥当と思う。	1件	
15	調整区域にしてから、1年ごとに行う会議の内容を毎年教えてほしい。	1件	通学区域の見直しを検討いたしました「教育問題審議会」は定期的開催されるものでなく、次回の見直し時まで開催する予定はございません。なお、教育委員会議については、案件として通学区域を取り上げることは稀であると思われませんが、毎月定例会議が開催され、ホームページにて議事録が公開されております。
16	泉ヶ丘1、2丁目に係る見直し案は、コミュニティが分断され、災害時の避難行動にも混乱を招く恐れがあることと、佐野台小学校、新池中学への距離が遠くなり、国道170号線を横断する必要があることから、反対である。	1件	ご意見のとおり、町を分断する形となっており、コミュニティへの影響が懸念されますが、佐野台小学校の小規模化の解消を主な理由として、同校に編入するもので、ご理解ください。
17	泉ヶ丘町が分断され、こども会運営、こども見守り活動等、町会運営に支障があり再検討してほしい。	1件	

整理番号	ご意見・質問要旨	件数	回答
18	同じ町内は同じ学校へというのが原則であり、今回の見直しで「地域の絆」が潰れてしまう。	1件	ご意見のとおり、地域コミュニティへの影響が懸念されますが、見直し案は、大規模校・小規模校の是正、登下校時の危険性の確保を重視したものであり、ご理解ください。
19	学校規模の是正は通学区域を変更するのではなく、都市づくりをどうしていくかという課題の解決が先決である。	1件	現状では、少子化傾向にあるなか、利便性の高いところに住宅開発が集中するため、通学区域を変更することで、学校規模の是正を行っていきたいと考えます。
20	各校区の意見を聞かずに、教育問題審議会を進めたのが問題である。	1件	教育問題審議会は、全市的な視点から、子どもたちにとって望ましい教育環境を第一に考えて検討していただきました。各地域の意見については、見直し案の作成後、説明会等でお聞きすることとしましたので、ご理解ください。
21	子どもが空連道を渡り切れずに中央分離帯で、ふざけ合ったりして道に飛び出しそうになっているのをよく見かける。子どもの安全を第一に考え、空連道の横断を避ける見直し案に賛成である。	2件	ご意見のとおり、子どもの安全を第一に考えていきたいと考えております。
22	空連道で日根野、上之郷を区切ったら、旧日根野地区からどれだけの人数が移る可能性があるのか。	1件	ご質問の旧日根野地区（野口・西出の空連道と歌山側）は、字界での境界でないため、一人ひとり手作業で拾っていく必要があります。未就学児のうち把握できているのは、平成28年入学の新1年生（H21.4.2～22.4.1生）のみで、人数は25名となっています。 なお、同地区の現在の在校生（1～6年の合計）は、145名となります。

整理番号	ご意見・質問要旨	件数	回答
23	通学区域変更実施後の推移予想が必要	1件	審議会では、通学区の見直しが無かった場合の各小学校別の児童数の推計を行い、検討材料としましたが、見直し後の予想については、調整区域を設けたこともあり、できておりません。
24	市民の認識が低いので、スケジュールの見直しを検討してほしい。	1件	スケジュールは当初予定通りとします。また、1月に新通学区域が決定した後は、市民への周知に努めたいと考えますので、ご理解ください。
25	大木小学校に通学しているが、小規模特認校を廃止しないでほしい。	1件	大木小学校の小規模特認校指定を廃止する予定はありません。
26	佐野中学校は空連道で分けるべきである。	1件	市内の中学校の配置状況等から困難と考えます。
27	羽倉崎に小学校、泉佐野駅側に中学校があるのが適正である。予算がないなら、末広公園、佐野中に小学校を、二小に中学校を作る、633制を見直す、ということは検討したのか。	1件	少子化のなか、新たに学校を作ることは困難と考えます。なお、今回の通学区の見直しは、現状の学校施設を有効に活用することを前提としています。 また、小中一貫校は、現時点では時期尚早と考えます。
28	田尻町、熊取町、泉南市といっしょに通学区を考えられないのか	1件	現状では困難と考えます。

※ 上記の回答につきましては、現時点での見直し案に基づいた考え方を示したものであり、来年1月7日に開催されます教育委員会議におきまして、パブリックコメント及び地域説明会で頂いたご意見を踏まえ、再度検討が行われ、新通学区域が決定することとなります。